

横須賀三浦・湘南地域
普通科・専門学科併置校
(横須賀明光高校・大楠高校)
設置計画

平成31年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 横須賀明光高等学校 大楠高等学校
- (2) 位置 横須賀明光高等学校敷地（横須賀市佐原4-20-1）
- (3) 実施年度 平成32年度

2 設置の目的

- これまで両校が取り組んできた教育活動を大切に、普通科（クリエイティブスクール）、福祉科併置の特色をいかし、個々のニーズに応じたきめ細かな指導を行い、共生社会において活躍できる人材育成をめざす。
- 普通科（クリエイティブスクール）では、多くの可能性を秘めながら、一人ひとりが持っている力を必ずしも発揮しきれなかった生徒に対して、これまで以上に学習への意欲を高め、確かな学力の定着をめざす教育に取り組む。
- 福祉科では、社会福祉に関する知識と技術を総合的・体験的に学習する教育に取り組む。
- 地域との協働による学校運営を一層充実させるとともに、これまで培ってきた国際社会の中で生き抜く力を育てる教育活動をいかしながら、生徒一人ひとりの社会的・職業的な自立に向けた資質・能力や態度を身に付けるキャリア教育を一層重視した教育活動を展開する。

3 基本的コンセプト

- 学年制による全日制普通科（クリエイティブスクール）と専門学科を併置する県立高校として教育を展開する。
- 学科併置の特色をいかした幅広い教育活動の展開
普通科（クリエイティブスクール）と福祉科の教育内容を充実、発展させるとともに、学科併置の特色をいかし、学校の教育活動全体を通して、他者への理解を深め、ともに支えあう心を育む教育活動を展開する。

- 普通科（クリエイティブスクール）としての学習の取組みと教育の展開
普通科（クリエイティブスクール）として、わかることが実感できる学びを提供し、一人ひとりの進路希望の実現に向けた指導と支援に取り組むことで、社会の一員として自己の未来を創造することができる人材を育成する。
- 福祉科としての学習の取組みと教育の展開
福祉科として、社会福祉に関する基礎的・基本的な知識・技能と技術を総合的、体験的に身に付け、社会福祉の理念と意義を理解したうえで、自ら進んで社会に関わり、他者と協働しながら社会の一員として社会福祉の増進に貢献するとともに、自己の未来を創造することができる人材を育成する。
- 地域との協働の推進
地域の教育資源を積極的に活用し、体験的な学びを通して、人や社会との関わりを大切に作る心を育成する。
- 生徒支援、教育相談の充実
集団での活動による人間関係づくりの工夫、相談室・ラウンジなどの居場所づくり、専門家による支援や関連機関との連携・協力を通して、すべての生徒への相談・支援に取り組む。

4 設置形態

- | | | |
|-----|------|---|
| (1) | 課 程 | 全日制の課程 |
| (2) | 学 科 | 普通科（クリエイティブスクール）
福祉科（福祉に関する学科） |
| (3) | 学校規模 | 全日制の課程 600名（15学級規模程度）
普通科 360名（各学年120名 3学級規模程度）
福祉科 240名（各学年80名 2学級規模程度）
※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定 |
| (4) | 修業年限 | 3年 |
| (5) | 学 期 | 3学期制 |
| (6) | 履修形態 | 学科ごとの科目を中心とした必修科目及び選択科目による履修 |

- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定
 <日課表> (予定)

	(月) ~ (金)
ショートホームルーム	8 : 40 ~ 8 : 50
1 校 時	8 : 55 ~ 9 : 45
2 校 時	9 : 55 ~ 10 : 45
3 校 時	10 : 55 ~ 11 : 45
4 校 時	11 : 55 ~ 12 : 45
昼 休 み	12 : 45 ~ 13 : 30
5 校 時	13 : 30 ~ 14 : 20
6 校 時	14 : 30 ~ 15 : 20
ショートホームルーム	15 : 25 ~ 15 : 35

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集 (中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者)
 (2) 選抜の区分 共通選抜
 (3) 選考の方法

<普通科 (クリエイティブスクール)>

事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

○ 学力検査を課さず、「面接」と「特色検査 (自己表現活動)」を実施する。

<福祉科>

事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本の方針
- 高等学校在籍3年以上で、必履修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づいて学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
 - 普通科 (クリエイティブスクール) においては、共通教科・科目を中心に義務教育段階の学習内容の確実な定着を図りながら、必履修科目の内容の確実な習得を図ることができるようにする。
 - 福祉科においては、専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。

- 両学科とも、学科併置の特色をいかして、一人ひとりの学習ニーズ、進路希望に応えることができるよう教育課程の編成と運用を行う。
- (2) 教育展開の方針
- 普通科（クリエイティブスクール）においては、わかることが実感できる学びを重視した教育を提供するため、すべての学習活動を1クラス30人以下で構成し、少人数指導等を工夫した授業展開を行う。
 - 学校全体の教育活動において福祉の心を育む教育を展開する。
 - グローバルな視野をもち、多様な価値観を受容できる力、自分で気づき、考え、行動を起こす力を育成する教育を展開する。
- (3) 編成の方針
- 普通科（クリエイティブスクール）における学び直しについては、各学科に共通する必履修教科・科目の年間指導計画に位置付けて行う。
 - これからの共生社会を担うコミュニケーション能力と態度を育成するため、両科に共通する必履修科目「コミュニケーション技術」を設置する。
 - グローバルな課題を自分のものとして捉え、自分で気づき、考え、行動を起こす力を育成するため、教科「福祉」の学校設定科目「共生社会と人間」を設置する。
 - 体験活動や実習を重視した科目を設置する。
 - 県立高校生学習活動コンソーシアムなど、地域の教育資源を活用した教育を展開する。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 普通科 (クリエイティブスクール)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
普通科	1 学年	国語総合 ⑤				現代社会 ②		数学 I ④			生物基礎 ②	体育 ②	保健 ①	音楽 I / 美術 I ②	コミュニケーション英語 I ④			家庭総合 ②	コミュニケーション技術 ②	自由選択 ②	総合的な探究の時間 ①	L H R ①									
	2 学年	現代文 B ③	日本史 A ②	数学 A ②	化学基礎 ②	物理基礎 / 地学基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽 II / 美術 II ②	コミュニケーション英語 II ③		家庭総合 ②	社会と情報 ②	古典 A / 地理 A ②	自由選択 ②	総合的な探究の時間 ①	L H R ①														
	3 学年	現代文 B ③	国語常識 ②	実用数学 ②	世界史 A ②	政治経済 ②	体育 ③	コミュニケーション英語 II ②	英語会話 ②	必修選択 ②	自由選択 ①～⑧				総合的な探究の時間 ①	L H R ①															
		古典 B / 数学 III ④																													

◇ 1 学年自由選択 (2 単位)

工芸 I、発展英語、スポーツアラカルト、クッキングアラカルト

◇ 2 学年自由選択 (2 単位)

工芸 I、発展英語、スポーツアラカルト、クッキングアラカルト

◇ 3 学年必修・自由選択 (2～10 単位)

国語表現②、世界史 B ④、日本史 B ④、数学 B ②、物理④、化学④、生物④、生活美術②、情報の科学②、フードデザイン②、社会福祉基礎②、スポーツ II ②、演奏研究②

(○囲いの数字は単位数)

※ 教育課程表は予定であり、変更することがある。

○ 福祉科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1 学年	国語総合 ④				現代社会 ②		数学 I ④				科学と人間生活 ②		生物基礎 ②		体育 ②		保健 ①	音楽 I / 美術 I ②		コミュニケーション英語 I ④			家庭総合 ②		社会福祉基礎 ②		コミュニケーション技術 ②		L H R ①		
2 学年	現代文 B ③		日本史 A ②		数学 A / 化学基礎 ②		体育 ③		保健 ①	コミュニケーション英語 II ④			家庭総合 ②		社会福祉基礎 ②		介護福祉基礎 ②		生活支援技術 ⑤ ※5 単位のうち、1 単位は短期集中			こころとからの理解 ②		共生社会と人間 ②		L H R ①					
3 学年	現代文 B ③		世界史 A ②		体育 ③		コミュニケーション英語 III ④			介護総合演習 ③		福祉情報活用 ②		必修選択 ⑧ ※専門科目を 4 単位以上選択					自由選択 ⑩～⑮			L H R ①									

◇ 3 学年必修・自由選択（8～13 単位、専門科目 4 単位以上含む）

国語表現②、古典 B④、世界史 B④、日本史 B④、数学 A②、数学 B②、化学基礎②、化学④、生物④、生活美術②、英語会話②、情報の科学②、子どもの発達と保育②、フードデザイン②、疾病と看護②、介護実習③、社会福祉研究②、コミュニケーション技術探究②、ボランティア学習②、スポーツ II②、演奏研究②

（○ 囲いの数字は単位数）

※ 教育課程表は予定であり、変更することがある。

学科併置の特色をいかした科目について

普通科（クリエイティブスクール）と福祉科の併置の特色をいかした教育課程を編成し、学科相互の関連を図る学習を可能とするため、学科に共通する専門科目として以下の科目を設置する。

< 学科に共通する主な専門科目 >

コミュニケーション
技術

… 福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、人間関係の構築や対人援助に関する知識と技術を身に付け、コミュニケーションの資質・能力を育成する。なお、普通科においては基礎的、福祉科においては専門的な内容に重点を置く。

社会福祉基礎

… 福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉に関する知識と技術を身に付け、社会福祉の向上に必要な基礎的な資質・能力を育成する。なお、普通科においては福祉全般を広く学習する。

(5) 学習指導の工夫

- 課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学習活動の展開に取り組み、知識の質や量を改善するとともに、学びの質や深まりを重視した指導方法等の充実を図る。
- 自らの学習目的や進路希望に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。
- 専門科目の展開では、実習・実技などの体験的な学習活動を充実させるとともに、各自の学習ニーズに応じたきめ細かい指導が実施できるよう配慮する。

(6) 生徒指導等の工夫

- 生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。
- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、さまざまな個性を相互に尊重し、より良い人間関係の構築と自己の自立をめざす。
- 特別支援学校のセンター的機能を活用したきめの細かい生徒支援を行う。
- スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）による相談・支援を行うとともに、医療・福祉関係機関との連携を図る。

(7) 進路指導の工夫

- 生徒が自己のあり方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。
- 教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や進路希望に対応したガイダンスの機能の充実を図るなど支援体制を確立する。
- スクールキャリアカウンセラー（SCC）による相談・支援を行う。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価の取組みをいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。

- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用した地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 両校の統合による普通教育及び専門教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 普通科（クリエイティブスクール）及び福祉科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256